

Dance New Air 2020->21 『 n o w h e r e 』

字幕・ナレーション 書き起こしテキスト

本作品には、ナレーションと日本語の字幕をご用意していますが、一部、字幕なし（ナレーションのみ）の部分があります。ナレーションは一般的な音声ガイドとは異なり、作者の視点で、状況や心情を語っているものです。ナレーション部分のテキストを書き起こし、青文字で記載していますので、文字情報がある方がお楽しみいただける方はこちらの資料をご活用ください。

本資料についての表記説明

- ・ナレーション：湯浅永麻の声で読み上げられるテキスト
- ・字幕で湯浅永麻のセリフはエマと表記。
- ・字幕で柿崎麻莉子のセリフはマリコと表記。
- ・音楽、環境音の説明はオレンジ色

ノスタルジックなゆっくりとした曲

01:33

天井に吊られた何百万もの星を映し出すプラネタリウムマシンのメガスターは

床にも 観客の肌の上にも 空間いっぱいに星を散らして

様々な大きさの星がゆっくり動いていて

自分がどこにいるのかわからなくなるくらい 宇宙の空間に漂っているような …

ランダムにマリコちゃんと私の開演前の楽屋の様子が壁に映ったり消えたりして

宇宙の世界と現実の間を行ったり来たりする

私たちはそれぞれの部屋で

ウォームアップしたり 鏡で姿をチェックしたり 花に水をあげたり

思い思いに準備をする

7時 開演の時間 私は楽屋のカメラに向かって 観客に話しかける

03:33

エマ

今日は 来てくださって本当に有難うございます

まず始まる前に 皆さんと一緒にやりたいことがあって

鞆か ポッケの中に

携帯電話が入っていると思うんですけど それをもう一度チェックして

オフになってるかを

私も昨日 新しい携帯にしたんで

どうやってオフにしたらいいのか よくわからないんだけど

あ.. まだ...

... なりました

こういうのって 鳴った本人が一番 すごく気にすると思うんで ...

大丈夫かな？

今日は 12 月 27 日で、もうこの色々あった 2020 年も

もう直ぐ終わっちゃうんですけど

この間オランダにいた時は夏だったのに なんかもうすっかり寒くなってて

今日も会場のスパイラルに来る道の中で イチョウの落ち葉が沢山積もっていて

その形がなんかもうほぼ崩れて粒子みたいになっていて

それが黒いアスファルトの上にごう

星のように散らばっていて すごく綺麗だったんですけど

星といえば この間私も

海辺に友達と一緒に 星を見に行って

満天の星空と 流れ星とかが 見えたんですけど

そこで なんかたわいのない話を沢山してた中で

一つ 命のサイクルについて話したんですね

それは 人は死んで火葬されたら 一回煙になって 月に昇って

そこから 雨になって地に落ちて

それを養分として草木が育って 穀物になって

人間がそれを食べて

男の人の身体の中では精子になって

女の人の体の中の卵子と結合して

また生まれてくるっていうサイクル

それを思った時に 私は前にもこの形じゃない形で存在していて

多分将来 未来にもまた存在するんですね

たまたま今は この身体で

一緒に星を見てるんだよねって思ったら

なんかすごくいろんなことを考え始めちゃって

友達に 星を見ながら 「ねえ、どう思う？」って聞いたら

「いや 星はただ 綺麗だなんて 見れば良いんじゃない？」って返ってきたんですよ

なんかすごくハッとして

今を純粹に楽しむって そういうことなんだろうなって思ったんです

07:27

これは オランダ滞在中に 今年の春から夏の 自粛してた時に

部屋で撮り溜めたインプロビゼーション（即興）の映像です

楽屋映像から たくさんのオランダの部屋の映像に切り替わる

エマ

どれも これは同じ部屋なんだけど

その日の天気だったり 空気 温度 光の差す角度が

ちょっとずつ違ってて

私もそれによって受ける影響が 日に日に違っていたのをよく覚えています

私は楽屋を出て 話しながら舞台上がる

エマ

それでこれはもちろん 全部私なんだけど

私も その日に見た夢だったり 食べたもの 読んだニュース

聴いてる音楽 その日の体調だったり 考えていることが全部違ってて

それぞれの時間に この空間に その時しか存在しなかった

今の自分とは違う”私”です

どの動きも この時に無作為に生まれた生の動きで

もうこの時の感情も 動きも

全く同じようには 再現はできません

ピアノとオーケストラの曲

09:22

部屋で踊っている映像の一つが大きく映って

その前で私は映像と同じ動きをなぞるように踊る

春の自分と一緒に踊る あの時の床を擦る感覚

呼吸

空気の湿度が思い出されるけど

あの時の動きは 今やっても ちょっとずつずれる

あの時感じてた幸せな感情も 思い出すことができるけど

全く同じには感じられない

この時間は とても愛しい時間で あの時の踊りをなぞると

あの時の自分？ 映像に映っている 映像に残っている自分に

会いたい と思う

戻りたい とも思う

13:30

3月29日 満開の桜に雪が降る

4月7日 緊急事態宣言

4月26日 オランダに戻る 誰もいない飛行機

異常に暑い毎日

運河と自転車

近所の散策 マーケット

マスクをしない人たち

風車

踊らなくてもいい日

行き交う船にたくさんの人たち

美しい空 my friends social distancing ざわつく木 色とりどりの花

海 砂浜 水辺線 風

月 ー

14:11

雷の映像とともに真っ暗になり 言葉のかけらが

星のように 少しずつ現れて

ゆっくりと空間全体を 言葉が埋めつくしていく

14:29

エマ

3月6日

2020

Transient X

儂い 何か

memory

瞬間

身体

emotions

形

beauty

光

music

joy

痛み

温度

関係

trust

doubt

affair

約束

love

存在

life

今

波の音

16:31

エマ

時間ってどうやっても留めておくことはできなくて

どんなにはっきりした記憶も

いつの間にか ぼやけていくんだよね

私たちは戻らない”今”をいつも見送っていて

海に手を浸した時に

自分が一つの記憶にすがりついていることに気がついて

I think it's ok

I'm fine now

I let you go —

17:44

私が誰もいない広い公園で踊っている映像が映る

エマ

この日は風が強くて オランダらしい結構寒い日だった

でも晴れてて

光が綺麗で 雲の動きが早かった

ここに夕日が海に沈むのを何度も一人で見に来た

ずっと部屋にこもっていたから 久しぶりのひらけた場所で

どうやって踊ればいいのかよく分からなくて

でも気にせず 子供みたいに動き回っていると

ゆっくり 少しづつ

思い出してきた —

ピアノの曲

19:33

後ろの映像に合わせて また私は踊り始める

夕暮れ時の深い青い空と 芝生の濃い緑

時々 頭の上を 鳥が飛んでいった

20:35

後ろの映像の中の私がぼやけていく

21:12

私は映像の過去の私をなぞるのを辞めて

今の自分の踊りをしてみる

21:58

それでも時々微かに見える映像とリンクするんだけど

やっぱり過去の自分はゆっくり離れていく

22:39

私は踊り終わって寝ころび

後ろの映像の私が もがくように踊るのが映り出す

違う そうじゃなくて どうだったっけ さっきまではできたと思ったのに

もう ちょっとなのに

でも でも やっぱり違う あと あとほんの少し

ああやって ああやって出来たらいいのに

どうしていつも違うの なんでいつも思い通りに出来ないの

もう一回やろうか もう一回 もう一回違う方法でやってみたら

でも本当にやりたいと思ってる？ うん... いや... いやどうかな？

いやさっきまではそう思ってたんだけど やりたいと思ってたんだけど

でも今は でも今はめんどくさくって やる気も失せたし 疲れたし 痛いし

と言うかなんでこんなことしてるの？ 誰のために？ ここ誰もいないし

寒いし 暗くなってきたし ほんとに踊りたいと思ってる？

なんでここに来たの？ なんでいつも続かないの？ なんでいつも消えちゃうの？

また同じ繰り返し いっつもそう

It's almost there... But It's not quite yet...

なんで そうじゃなくて いやどうだったんだっけ でもさっきまでは

It's not like that... How was that? Just before I could do it...

h o w .. どう やっ て ..

h o w c a n .. I ... どう やっ た ら ...

h o w c a n I e x p r e s s .. つ た わ る ん だ ろ う ..

this .. この ..

complicated .. ふくざつな ..

emotions かんじょうは

with words.. . ことば で.. .

with... movements ... うごき で ...

wh a t ..	なに ..
what is the .. .	なに が ...
right word	ただしい ことば で
what is the .. .	なにが ...
right movement	ただしい うごき なんだろう
I try	やってみる
I give up	あきらめる
I try again	また やってみる
I fuck it	やっぱり だめ
.... I try again	また やってみる

激しい曲

♪ Music: “We Are the Massacre” by world’s end girlfriend ♪

25:56

映像の自分と向き合って また一緒に踊ろうとする

でも 映像は消えてしまって

私は 真っ白な空間に 取り残されて

過去の自分の余韻を探すように

激しく踊り出す —

27:14

伝えたいことがあっても それを伝えたいときに

もう相手がいなかったり 自分自身が変わってしまったりして

伝えられなかった想いがたくさんあって

時々それが 自分の中で どうしようもなく

暴発してしまう —

29:20

真っ暗になった中で

私の細胞が 小さな光の粒子になって 身体をつきやぶって

いつの間にかまた現れた 満天の星の空間に

ゆっくり 還っていく

マリコ

身体に溜まった感情は

いつ どうやって身体から出ていくの？

マリコちゃんがいつの間にか現れて話始める

この前 子供とダンスをした時に

色んな感情になるような動きを してもらおうと思って

怖い怖いって言いながら 後退りしてもらったり

嫌だ嫌だって言いながら 地面でバタバタしてもらったり

ギャーッて言いながら

エマ「ギャーッ」

マリコ 部屋中を走ってもらったり したんですよね

30:53

私は感情のかたまりになって マリコちゃんの言葉のとおり 動かされる

マリコ

私たちは 我慢したり わがままを言わないことを学んできたけど

本当は色々な感情が 拒絶されずに

そのまま 受け入れられる場所が必要なのかも

踊っていると 感情が動く瞬間があります

それは 感情表現をしようと思っている時ではなくて

こう 筋肉に力を込めて 緊張で身体が震えてくるような時とか

ゆったりした動きの中で 少しずつ 崩れていくような動きとか

純粹に動きのリサーチをしている筈なのに

いつの間にか

感情に 触れている時があるんですよね

はっ 思いがけず 感情のかたまりで動いていた私が

マリコちゃんの右手に触れてしまって

二人とも 一瞬 息をのんで 止まる

32:59

ゆっくり離れて 私はまた動き出す

マリコ

言葉にすることで 思考が自分を離れていくみたいに

動きにすることで 感情が開放されているのかも

解放された私は ゆっくりとマリコちゃんから離れて消える

マリコちゃんは 私を見送って 一人 舞台に残る

33:38

たくさんのマリコちゃんの部屋が映る

マリコ

これは 3 月から 6 月の間に 色んな場所で踊っている自分を撮影したものです

例えばこの人

この人は 映画を見た後にエンドロールと一緒に踊ってます

この時 この時は 久々にスタジオに行きました

この辺に沢山いる 白いパジャマの人は

朝起きてすぐに 友達に頼まれたから 仕方なく 踊ってますね

自分の部屋で踊っていると いつもの部屋が違って来るんですよ

その辺に置いてある 洗濯物とか 目の前に開きっぱなしのパソコンが

全然気にならなくなってきて

いつもの部屋が ただの四角い箱みたいに

光の入る 静かな空間に

この時 この人たちは 踊ることが必要でした

音楽を感じて 身体を感じて

感情を動かすこと 踊る時間が必要だった

明るい曲 ♪Music: “Earth Odyssey” by Asaf Avidan♪

35:37

パジャマで踊っている映像が大きく映って

その前で マリコちゃんが映像と同じ動きを踊りだす

♪Wake up from your sleep, take a deep breath

♪And let it all out (Over and over again)

♪Tear away your dreams by the seams

♪ And throw them about (Over and over again)

♪ Fall back to your corner, it's over

♪ The game was rigged from the start

♪ Hold your body, embrace it, and taste it

♪ As it's falling apart

♪ Something out of nothing

♪ Still amounts to nothing at all

♪ Oh no, you're not that strong

♪ Something out of nothing

♪ Still amounts to nothing at all

♪ Let's run and run and run and run

♪ Get down from your feet, take a seat

♪ And watch it go by (Over and over again)

♪ Spend away your years through your fears

♪ And let it all fly (Over and over again)

♪ Something out of nothing

♪ Still amounts to nothing at all

♪ Oh no, you're not that strong

♪ Something out of nothing

♪ Still amounts to nothing at all

♪ Let's run and run and run and run

♪ Emancipated and sedated, can't you tell?

♪ Dilapidated, consecrated to the art of singing

♪ Nah-nah-nah-nah

♪ the world is spinning under

♪ Nah-nah-nah-nah

♪ And everybody's singing to their graves

♪ Nah-nah-nah-nah

♪ And the world keeps spinning on and on and on

♪ Nah-nah-nah-nah

♪ We're all racing to the point of no return

♪ Nah-nah-nah-nah

♪ Keep singing like there's no tomorrow

マリコちゃんの呼吸の音

はあ はあ はあ はあ

はあー

40:04

踊り終わって マリコちゃんは座り込む

真っ暗になって言葉のかけらが星のように また現れて

ゆっくりと空間全体を 言葉が埋めつくしていく

マリコ

2020 年

7月7日

Wow—

surprise

shock

shaking fingers

change

変化

身体

フォルム

あばら骨

weights

heaviness

不安

混乱

home

landing

dream

missing

dance

music

shows

excitements

passions

movements

heart beat

shape

love

silence

hope

and now

鳥の鳴き声 草木の風に揺れる音 ハミング 足音

42:26

森の中 午後の光が 木漏れ日からまぶしく差している

下から見上げる あざやかな オレンジ色の背の高い木々

マリコ

春に

新しい家に引っ越した

43:09

石柱が何本か立つ広場で マリコちゃんが歩いている映像が映る

マリコ

家の近くには 大きな自然公園があって

時々散歩に行く

この日は秋で 紅葉した木が風に揺れてて

一歩一歩 歩く度に落ち葉がカサカサいって

世界が刻一刻と変わっていくのを全身で感じた

美しいものはいつも世界の方から 私の外側からやってくる

この体もまた私に一番近い世界 踊るときの愛しい身体

世界の煌めきに触れる瞬間

華やかな曲

44:52

マリコちゃんはオレンジ色の光に包まれて 後ろの映像の動きに合わせて踊りだす

曲の名前の "My heart will stop in joy" のとおりに とても幸せそうに

46:10

後ろの映像の中のマリコちゃんが ゆっくりぼやけていく

過去の自分をなぞるのではなくて

同じ動きを 今のマリコちゃんが 心に突き動かされるままに 踊っている

47:32

踊り終わったマリコちゃんは 疲れたように床に寝ころぶ

胎児の早い心音

47:47

映像の中のマリコちゃんが大きく映り

だんだん激しく もがくように踊りだす

48:13

突然映像の中のマリコちゃんは動きを止める

ゆっくりと右手を胸に当てて 自分の心音を確認める

マリコ的心音

48:48

そして左手をお腹に当てて 胎児の心音も確かめる

2つの心音が重なり合う

マリコ

life —

life within life

心臓

2つの心臓

sharing same air

you —

you changed me

骨

内臓

血

you

changed me

50:46

マリコちゃんはゆっくり立ち上がり 映像の自分と向き合う

マリコ

we

私たちは

used to

むかし

float

粒子として

together

一緒に

once

空間を

as a particle

漂っていた

ゆっくり私たちの方へ振り向いて 真っ直ぐに観客を見つめる

マリコ

now

今は

here

ここで

in this body	この身体で
till the time	またいつか
we go back to	虚空に
where we came from	戻るまで
waiting for you —	あなたを待ってる—

静かな美しい曲

52:21

マリコちゃんは 映像の中の自分が踊りながらだんだん遠くへ行って

やがて消えてしまうのを見送る

52:54

誰もいなくなった森の風景の前で

マリコちゃんは 空間に漂う粒子をゆっくり探し始める

53:53

一つの粒子を手にとって

懐かしむように

自分の身体につけて

その感触を味わって

それが消えたら

また他の粒子を見つけて

自分の一部にする

55:03

静かに森の風景は消えていって ゆっくりと星の空間が戻ってくる

そこに 過去の思い出が帰ってくるように

時々 森の風景がぼんやり現れる

宇宙と現実の世界を行ったり来たりする

56:04

でも 記憶が薄れていくように

森はとうとう見えなくなって

マリコちゃんは すっぽりと星の世界に包まれて 踊りつづける

57:28

踊りをやめて マリコちゃんは天の川の上を歩く

だんだん腰が曲がって 足が重くなって ゆっくりと歩みを止める

星の光さえも 時には眩しすぎる

膝が崩れて

星が散らばった床を這うように動く

自分の身体が 星と同化していく

立ち上がって星の世界を見渡す

59:49

エマ 『ねえ、どう思う？』

エマ 『んー 星は ただ綺麗だなーって 見たらいいんじゃないかな』

エマ 『(笑って) ふふ... うん そうだね』

エマ (すうーっと息を吸う)

マリコ はあ

01:04:07

マリコ ーおわり